

マルチカテゴリ小売企業Big LotsがCentric PLM™ でサプライヤとの協業を最適化



お客様

北米をリードする存在として1,400を超える店舗を展開し、食品に加えて家庭用品、家具、消耗品などの商品を販売するマルチカテゴリ小売企業Big Lots。

調達とオリジナルブランドの開発を最適化

Big Lotsは、スナック、飲料、食料品とあわせて、消耗品、電子機器/アクセサリ、家具、家庭用品、季節限定品など様々な商品を販売しています。14,000を超えるSKUを扱う中で、Excelを使った手作業をやめてPLMを導入することで、状況を見える化して、プロセスやデータの一貫性を保ち、効率の悪いグローバル調達を改善する方法を模索していました。PLMを導入すれば、タスクやアクションを一元管理して、バイヤー、MD、サプライヤの協業を改善することも可能になります。

またBig Lotsは、競争力を強化するために、食品やそれ以外のオリジナルブランド商品の調達や開発を最適化して、サプライヤとの協業を改善し、RFQから商品化までのプロセスをスピードアップしたいと考えていました。PLMに投資して商品ライフサイクル全体でプロセスを最適化することで、利益率を向上して、コスト計算を自動化し、新商品のリリースを効率的に管理して、スピーディーに商品開発を進めることが可能になります。

Centricを選んだ理由

Big Lotsは、小売業界での経験が豊富なCentricが提供する、使いやすくてニーズに合わせて構成できるCentric PLMを選びました。Centric独自のアジャイル導入手法SMや業界のベストプラクティス、そしてExcelを使ったプロセスからエンタープライズシステムへ移行する際の変更管理も、Centricを選ぶ決め手になりました。

グローバル調達部門バイスプレジデントのRyan Shuster氏は「柔軟性が高くベストプラクティスが搭載されたCentric PLMと、Centric独自のアジャイル導入手法のおかげで、アメリカ政府が中国から輸入する商品の関税を変更した際もスピーディーに対応し、すぐに状況を把握することができました」と話します。

協業を強化してリードタイムを短縮

Big Lotsは、当初はCentric PLMを使って食品以外の商品の品ぞろえ計画や調達、販売計画を管理し、その後食品でもPLMを活用するようになりました。現在では柔軟性が高くニーズに合わせて構成できるCentric PLMを使って、31部門の206種類の商品を管理しています。

オリジナルブランドの商品では、Centric PLMを使って販売計画とデザインのプロセスを管理しています。今では企画段階からサプライヤと協業を開始しており、PLMを使ってサプライヤにリクエストを一括送信して、提案を受け取り、内容を比較して選別を行います。商品化が決まると、品質管理やパッケージ開発、デザイン等次のステップに進めることができ、見積の取得や商品化のプロセスをスピードアップすることができました。商品化が進むと、パッケージや法務部門が、最終の原材料一覧やコンプライアンスに関する情報など、商品の重要な情報にアクセスできるようになります。変更がリアルタイムに反映されるので、社内外の部門が精度と信頼性の高いデータにアクセスでき、ミスを減らして協業を強化することができました。

「品ぞろえや販売計画、調達を管理して、サプライヤのRFQプロセスを最適化するために、Centric PLMを導入しました。何百ものブランドやオリジナルブランド、食品の商品データを集約して管理することで、今では状況を見える化してサプライヤとの協業を強化し、リードタイムを短縮することができました」

グローバルソーシング部門
バイスプレジデント
Ryan Shuster氏

お客様

食品とその他商品を販売する北米のマルチカテゴリ小売企業Big Lots。

課題

- 14,000を超えるSKUの効率的な管理
- 社内外のコミュニケーションの改善
- サプライヤとの協業を強化し、見積から販売までのプロセスを改善
- サプライヤとフルに協業し、オリジナルブランドの商品とパッケージ開発を最適化
- PLMワークフローを拡大し、食品とその他の商品をカバー

プロジェクト

Big Lotsは、Centric PLMを使って食品とそれ以外の商品のライフサイクルを管理しています。Centric PLMを活用することで、サプライヤへの見積依頼や各社の見積の比較、選別のプロセスを最適化し、サプライヤと協業できる体制を整えて、オリジナルブランドの商品やパッケージの開発を効率化しました。

導入結果

- 食品を含む全部門で簡単に使える柔軟性の高いシステム
- サプライヤへの見積依頼、見積の比較、選別プロセスを効率化
- 情報をまとめて管理しリアルタイムに活用することで、スピードと精度を向上
- オリジナルブランドの商品開発で、企画段階からサプライヤと協業
- パッケージや法務部門が原材料の最新データに簡単にアクセス



「グローバル調達部門バイスプレジデントのRyan Shuster氏は「柔軟性が高くベストプラクティスが搭載されたCentric PLMと、Centric独自のアジャイル導入手法のおかげで、アメリカ政府が中国から輸入する商品の関税を変更した際もスピーディーに対応し、すぐに状況を把握することができました」

グローバルソーシング部門 バイスプレジデント Ryan Shuster氏

 CentricSoftware™



www.centricsoftware.com

© 2021 Centric Software, Inc. 全著作権所有。CentricはCentric Software社の登録商標です。またすべてのブランド名や商品名は各ブランドの商標登録である場合があります。